

平成25年 主な業種別死亡災害発生状況

新 潟 労 働 局

製 造 業

発生月	発生状況	事故の型	起因物
1 1月	ビン詰め工場において、空きビンを送り出すための自動搬送装置の運転監視を行っていた被災者が、待機状態で停止していた高さ約2mの同装置に上がり、何らかの確認作業をしていたところ、再起動した同装置と支柱との間に頸部をはさまれた。	はさまれ、巻き込まれ	その他の動力運搬機
2 1月	訓練用鉄塔において、訓練を行っていた被災者が、電線に取り付けられた「宙乗り器」と呼ばれる移動装置から電線に移る際、うまく乗り移ることが出来ずに両手で電線をつかんだ状態で宙づり状態となった。その際、電線に架けていた胴ヘルメット型安全帯が胸付近までずり上がり、胸部を圧迫し窒息状態となって、徐々に意識不明となり、両手を電線から離し完全に宙づり状態となった。	動作の反動、無理な動作	送配電線等
3 5月	屋外作業場において、被災者は、建築用鋼材(約730Kg)を天井クレーンでつり上げ、出荷場所に積み上げる作業を行っていたところ、1.8mの高さに積み上げた鋼材が落下し、下敷きとなった。	飛来、落下	金属材料
4 6月	工場内において、資材置場として使用している中二階(高さ約3.6m)へ断熱材を片付けるため、フォークリフトに断熱材を乗せて限度高さの約3mまで持ち上げた後、被災者は中二階への昇降階段を途中まで上り、高さ約2.6mの箇所からフォークに乗っている断熱材を手にとった後、1階床面まで墜落した。	墜落、転落	階段、棧橋
5 7月	工場内において片脚橋型クレーン(つり上げ荷重2.8t)を使用し、架台(重量約600kg)をつり上げて移動中、つりクランプ(横つり用、2点つり)が同架台から外れ、荷の下で、かがんで溶接作業を行っていた被災者に落下した。	飛来、落下	玉掛用具
6 8月	顧客へ納品を終えた被災者は、帰社するために会社所有のトラックを運転し、国道を走行中にガードレールに衝突した。	交通事故(道路)	トラック
7 10月	工場内において、有機溶剤を使用して金属金具の脱脂洗浄作業を行っていた被災者が、有機溶剤槽に下半身が浸かり意識不明の状態で見送られ、全身化学熱傷により死亡した。	有害物等との接触	有害物
8 12月	屋外作業場において、橋形クレーン(定格荷重4.8t)を用いて、搬入された山留め鋼材を所定の置き場に運搬する作業を行う中、玉外し後の玉掛け用具のみがかけられた状態のフックを横行操作により移動させたところ、予め積み上げられていた別の山留め鋼材の山(高さ約3.5m)の上部に玉掛け用具が接触、そのまま横行操作を続けたことにより、山留め鋼材(1.125t)1本が落下し、高さ約1mの鋼材上にいた被災者の頭部を直撃した。	飛来、落下	金属材料
9 12月	リサイクルされるトレイを運搬するため、ゴミ収集車を運転して回収先に向かった被災者が、回収先のリサイクルストックヤードにおいて、ゴミ収集車のテールゲート圧縮板に巻き込まれているところを見送られた。	はさまれ、巻き込まれ	トラック

建 設 業

発生月	発生状況	事故の型	起因物
1 5月	鉄骨造の工場解体工事現場において、頂部付近に上がって母屋のガス溶断作業を行っていた被災者が、高さ10.7mの箇所からコンクリート床面に墜落した。	墜落、転落	屋根、はり、もや、けた、合掌
2 6月	クレーン機能付きドラグショベル(クレーンモード:つり上げ荷重2.9t)を用いて、L型擁壁(重量1.8t)を3点つり(壁部2箇所・底盤部1箇所)にて仮置きし、被災者が壁部2箇所の玉外し作業を終えたところで、底盤部の玉外し作業が残っているにも関わらず、運転者は玉外し作業が完全に終了したものと思い込み、ブームを上昇させた際、L型擁壁が倒れ、L型擁壁と法面の間にいた被災者が挟まれ死亡した。	激突され	移動式クレーン
3 6月	屋外で電気炉の酸素濃度測定装置の取り付け準備作業をしていたところ、電気炉から火炎を伴った熱風と原材料が吹き出し、被災者の着衣に引火し、全身火傷を負い、治療を受けていたが、8月2日に死亡した。	高温物との接触	炉
4 7月	仮設工事事務所に電線を引き込むため、配電工事を行っていた被災者が、伸縮式移動はしごを5.25mに伸ばし、事務所外壁に約70度程度に立て掛け、上りはじめた。同僚が同はしごの転位防止のため、片足を踏面に乗せていたが、被災者が高さ約3mの位置から砂利敷きの地面に墜落した。なお、安全帯を着用し、引き込み電線のプラスチック防護管の間に通していたものの防護管の固定方法が弱かったため墜落した際に、剥がれ落ちていた。	墜落、転落	はしご等
5 7月	解体工事現場において、移動式クレーンを使用して、10m矢板を引抜作業中、玉掛けワイヤーロープが移動式クレーンのフック(外れ止めあり)から外れ、玉外し担当の2名を直撃した(死亡1、休業1)。	飛来、落下	玉掛用具

6	8月	河川の除草作業を行っていたところ、河川の法面でバランスを崩し、刈払機とともに放水路に転落し溺れた。	おぼれ	水
7	8月	建屋解体に伴う測量作業のため、機械撤去後に発生した開口部の転落防止柵の扉を開け、計測準備をしていたところ、開口部から約1.2m下の床に墜落した。	墜落、転落	開口部
8	9月	クローラークレーンを解体し、トレーラーに載せて搬送するため、被災者は上部旋回体の下に入り、クローラ部を固定するボルトの取り外し作業を行っていた。作業途中、オペレーターが声を掛けた後に旋回させたところ、被災者は旋回フレームとクローラの間に頭部をはさまれた。	はさまれ、巻き込まれ	移動式クレーン
9	10月	漁港防砂堤の堤頭部型枠解体作業中、型枠を連結するボルトをガス溶断したところ、型枠が堤頭部の端から外れて滑り落ち、溶断作業中の労働者1名と型枠にはしごをかけて載っていた被災者が海に落ち、被災者が溺れた。	おぼれ	水
10	10月	アパートの外階段屋根を取替えた後、被災者は二階の踊り場で雑作業を行っていた際、踊り場端部から後ろ向きの姿勢で階段をすべり落ちた。	墜落、転落	階段、棧橋
11	10月	工事現場における作業終了後、事業場へ戻るため、自社所有のワゴン車に労働者3名が乗車して高速道路を走行中、道路左側のガードレールに衝突。運転者を除く1名が死亡、1名が重傷を負った。	交通事故(道路)	乗用車
12	11月	発電所の水門取替え工事において、解体した扉体(ゲート設備:4t)をクレーン(つり上げ荷重6.6t)で仮置き場に荷下ろし後、玉掛用ワイヤーロープを取外すためにクレーンフックを下げ、同ワイヤーロープを緩めたところ、解体した扉体が倒れて、脇にいた被災者に激突し、扉体と仮置き場に設置されていた手すりに頭部を挟まれた。	崩壊、倒壊	金属材料
13	12月	ポンベ等の潜水器具を装着した被災者が、水深約4mの海中に潜りアワビ漁を行っていたところ、被災者が一向に海上が上がってこないため、周囲を捜索したところ海中で発見された。	おぼれ	水

#### その他(製造・建設以外)

発生日	発生状況	事故の型	起因物	
1	2月	残土置場において、工事現場から土砂を運搬してきたダンプカーの交通誘導に従事していた被災者が、仰向けの状態で土砂に埋もれているところを発見された。ダンプカーの後方で誘導中に、ダンプアップされた土砂に巻き込まれたものと推定される。	飛来、落下	トラック
2	5月	研修先から事業場へ戻るため、社有車に労働者3名が乗車し走行中、信号機のない交差点において、右方向から直進してきた学生4名が乗車する軽乗用車と出会い頭に衝突した(死亡1、意識不明1、休業1)。	交通事故(道路)	乗用車
3	5月	高速道を走行中の被災者運転の10トントラックが、道路のラインを引く作業を行っていた低速作業車5台の車列の最後尾を走行していた大型散水車に追突した。	交通事故(道路)	トラック
4	9月	機械修理などのため自動車各事業場を巡回していたところ、農道の交差点で手合い頭に衝突し、頭部を強打した。	交通事故(道路)	乗用車
5	10月	事業場の駐車場において、ゴミ収集車のブレーキランプを交換し、同僚と点灯状況を確認していたところ、無人のゴミ収集車が斜面で後方に動き1.53m下の地面に転落した。その際、転落する車を寸前まで押さえていた被災者を同僚が引き離したが、被災者は足を踏み外して1.53mの下の地面に墜落した。	墜落、転落	通路
6	11月	国道の道路情報掲示板の点検作業に伴う交通誘導業務中、停止合図に気が付かず走行してきたトラックにひかれた。	交通事故(道路)	トラック
7	11月	清掃センターにおいて、ごみ破砕機の定期点検で、破砕機内部の破砕刃の清掃を行っていた際、破砕刃を動かす必要があるため、作業指揮者が被災者に破砕刃を動かすことを告げ、階下にある操作盤に向かい、合図を行った後、操作盤の運転スイッチを入れたところ、被災者が破砕機内部の破砕刃上に入り、破砕機に巻き込まれ被災した。	はさまれ、巻き込まれ	混合機、粉砕機
8	12月	軽乗用車(マニュアル車)で朝刊配達中であった被災者が、配達先宅前の市道(坂道:勾配11°)で当該軽乗用車の右前輪に胸部を圧迫された状態でうつ伏せで倒れているのが発見された。	交通事故(道路)	乗用車